

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

4

2024

No.426



「うみ・なかまコミュニケーション」



特集

令和6年度 ギョレん事業計画(案)～前編～

しじみの健康パワーを再確認！

4月になると気温が少しずつ上がってくるので、仕事や休日など何かと忙しくなってくるのではないのでしょうか。今から体調管理をしておくことが大切。

ここしばらく私の研究材料はズバリ「肝臓」。肝臓の魅力に取りつかれています。健康に過ごすためには、たくさん役目を持つ肝臓の機能を維持することが不可欠。そこでおすすめしたい食品がしじみです。

もう間もなくしたら網走や天塩町などでしじみが獲れる時季に入ります。私は地元でもある網走産のしじみがとてもなじみ深く、子供の頃からしじみのみそ汁が食卓に並ぶと、いつもひと粒残らず身も味わっていたくらいです。天塩町は以前、講演会の仕事で訪問した思い出の町。特産品のしじみラーメンをたく

さんいただき、これが本当においしかったことを覚えています。天塩町はまた行きたい町のひとつですね。

しじみには「オルニチン」というアミノ酸が含まれています。オルニチンは体内でたんぱく質の代謝によってできた有害物質を肝臓で無毒化し、尿として排泄する時に必要な成分。排泄されなかった部分はエネルギー源として使われます。よってオルニチンは肝機能を助け、疲労回復作用を持つということ。

さらにコラーゲンの合成や皮膚の健康、入眠や目覚めの良い睡眠にも関わります。しじみは食品の中でオルニチン含有量がトップクラス。

また肝臓の働きをサポートする「タウリン」や、体内リズムを整える「ビタミンB12」も含

まれているので、オルニチンとの相乗効果で肝機能向上や質の良い睡眠に役立ちます。

日々疲れを残さずしっかりと眠って、エネルギーを蓄え、肝臓を守るためにもしじみの力を借りてみてはいかがでしょうか。



うみまき
上坂マキコ
お食事のカウンセリングサロン
OAS代表／管理栄養士／料理家
／コラムスト
テレビ出演、新聞・雑誌などでコ
ラム連載や栄養監修、レシピ、ス
タイリングの提供などを行う。
講演会や食事指導、料理講師、短
大・専門学校非常勤講師など
活動は多岐。ぎょれんと共に昆
布や鮭の情報を広く発信。

01 マチコさんのおさかなコラム
「しじみの健康パワーを再確認!」

02 特集1
令和6年度 ゑれん事業計画(案)～前編～

08 なみまるインフォメーション

10 浜の家族物語
宗谷漁協／袴田 祐也さん ご家族

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願!
浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱



日本の最北端・宗谷岬からほど近い富磯漁港。3月上旬にはメンテナ
ンスを終えた漁船が一同に下架され、これから始まる春漁に向けて
賑わいをみせていきます

表紙の写真
はかまだ ゑうや
宗谷漁協／袴田 祐也さんご家族です

特集
SPECIAL

令和6年度 ぎょれん事業計画 ー前編ー



ぎょれん 菊池副会長

令和6年度が始まりました。今月と来月の2号にわたり、ぎょれんの「令和6年度事業計画(案)」をご紹介します。

今月は令和6年度事業計画のうち、漁政対策、指導・教育事業、漁業環境保全対策事業、販売事業(全体方針及び秋鮭)を、来月は「令和6年度事業計画 ー後編ー」として、販売事業のうち、ほたて・昆布・鮮魚に関する事業と、末端加工製品、食の安全・安心対策、宣伝販促・食育事業、購買事業、経営体制の計画をご紹介します。

基本的な考え方

令和5年の本道漁業生産量は109万トンとなり6年連続で100万トンを超えましたが、秋鮭は回復の兆しを見せた一昨年を大きく下回り、昆布、さんま、するめいかといった本道を代表する魚種の資源水準も依然低位にあります。漁業生産額については、中国による禁輸措置や秋鮭の不漁の影響により2,781億円と昨年を401億円下回る結果となりました。

消費流通面においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行など、国がコロナ禍からの脱却に向けて大きく舵を切ったなかで、ここ数年中止が続いていたイベントの再開や国内外の人の往来も活発化するなど、経済活動が正常化に向けて動き出したこともあり、低調であった外食業態も段階的に回復しつつ、かつコロナ禍で伸長した中食需要が落ち込むことはなく、国内販売は堅調な推移をみせました。一方で、福島第一原発ALPS処理水の海洋放出に伴う中国の日本産水産物の全面禁輸措置が引き金となり、ほたて、なまこ等を中心に消流の停滞が起こるなど、近年好調をみせていた海外輸出に大きな影響を与えることとなりました。

このような状況下、本会は変化したマーケットに照準を合わせた販促活動を展開し、北海道ブランドを前面に打ち出した高品質で安全

安心な水産物の浸透に努めるとともに、国の補助金も活用しながら、より一層の国内販売の強化や中国以外の輸出ルートの構築を行い、一定の成果を収めてきました。

令和6年度においても、国内消費の回復と海外販路の安定化に向けて総力を挙げて取り組むとともに、依然続く中国の日本産水産物の禁輸措置に伴う消流停滞への対応や物流・運送業界の2024年問題が引き起こす水産流通への影響などに対して、各種協議会とも連携を図りながら道産水産物の安定的な消流に向けた取組を推進します。

漁政活動については、福島第一原発ALPS処理水の海洋放出による影響の軽減に向けて、国や関係先への働きかけを継続して実施するとともに、水産資源の回復と増大に向け、本道漁業の実態に即した管理手法の導入と資源減少要因の早期究明に向けた調査・研究体制の拡充、さらには漁業・漁協経営の安定、漁場環境の保全等、多岐にわたる課題解決に向けた各種要請を継続します。

環境面においては、本道漁業環境及び資源を未来に繋げるべく、各種施策の実施やサステナブル社会の実現に向けた取組などSDGsが掲げる目標実現に向け本会CSR活動の充実を図ります。未然防止対策を含めた河川・海洋環境保全対策の推進に加え、エコ包装資材をはじめとする環境配慮商品の拡充、全道なみまるクリーンアップ作戦などの海浜清掃

活動の継続実施や廃棄漁業資材のリサイクル等の海洋プラスチックごみ対策の取組を推進するとともに、これらの取組を対外的に発信することで環境意識向上への機運醸成を図ります。

本道を取り巻く環境は依然として厳しく、かつ急激な変化に見舞われていますが、「浜のために・浜とともに」という組織理念のもと、「持続可能な未来を創る北海道漁業の実現」を基本方針とした中期的事業推進方向の2カ年目として、漁協系統の組織力を結集し、指導・経済事業連合会としての機能強化を図るとともに、総力を挙げて各種対策に取り組みます。

令和6年度事業計画(案)

指導事業について

1. 漁政対策

海洋環境の変化に伴う水産資源の変動や漁業者の減少と高齢化等といった構造的課題に加えて、自然災害や海獣等による漁業被害や貿易問題などの課題が山積している環境下、令和5年8月、福島第一原発ALPS処理水の海洋放出開始に伴い、中国によって日本産水産物の輸入が全面的に禁止され、本道におけるほたて、なまこ等の流通に大きな影響が生じることとなりました。

また、令和3年9月に本道太平洋沿岸において発生した赤潮による漁業被害に対する支援の継続が求められているほか、国の進める「新たな資源管理」に伴う漁業現場の混乱も依然として危惧されています。

本年度の漁政対策の推進にあたっては、本道漁業を取り巻くこれら課題が解決され、持続的な漁業が実現するよう、引き続き取り組んでいくこととします。

(1) 福島第一原発ALPS処理水の海洋放出による影響の軽減に向けた取組

- ① 国による各種対策事業の活用推進
- ② 漁業被害に係る東京電力への損害賠償の枠組の活用

(2) 漁業・漁協経営の安定化に向けた取組の強化

- ① 担い手・後継者対策の取組強化と外国人材活用に向けた取組
- ② 漁業者の設備投資(漁船・漁具・機器等)に係る支援策の強化に向けた取組
- ③ 漁業収入安定対策における減収著しい漁業に対応した施策強化に向けた取組
- ④ 漁業経営セーフティネット構築事業等、漁業経営コスト削減に向けた取組
- ⑤ 国の施策推進に伴う水揚げ減少により減収となった漁業・漁協経営に対する支援実現に向けた取組

⑥ 漁協の収支改善と設備更新・保全等の支援に係る予算確保に向けた取組

(3) 本道漁業の実態に即した水産資源の回復・増大に向けた取組の推進

- ① 栽培漁業・増養殖事業に係る実効性ある施策実現と予算確保に向けた取組
- ② 資源減少要因の究明に向けた調査研究体制の拡充強化に向けた取組
- ③ 国が推進する「新たな資源管理」における本道漁業の実態に即した資源管理措置（ほっけ、真だら等）の実現に向けた取組
- ④ 漁獲が減少している資源（秋鮭、さんま、するめいか、昆布等）に対する資源回復に向けた取組
- ⑤ 資源の維持・回復を阻害する密漁防止と遊漁対策の拡充強化に向けた取組

(4) 漁村振興及び漁場環境保全に係る取組の実施

- ① 有害生物による漁業被害の防止と漁業経営への影響軽減に向けた取組
- ② 赤潮被害に係る原因究明と漁場の早期回復・被害対策の拡充に向けた取組
- ③ 漁村振興に寄与する水産多面的機能発揮対策等の予算確保に向けた取組

(5) 災害被害対策の拡充強化に向けた取組

- ① 流木等の自然災害被害からの早期復旧体

ことに合わせ、本会職員が出講対応し役職員研修や諸会議での協同組合論教育を実施します。



道漁青連「漁師さんの出前授業」

3. 漁業環境保全対策

近年の豪雨災害を踏まえた大規模な河川改修や、道路網の整備、新幹線延伸工事に伴う重金属類含有土砂の受入地問題等の課題があります。また、工事濁水や油、家畜排せつ物の流出事故も後を絶ちません。

最近では、半導体工場の新規建設など、河川環境やふ化放流事業へのリスクが高まっている現状があるほか、海洋環境では、トド等有害生物対策や、海洋プラスチックごみ問題、流木対策と森林環境保全等の課題に加え、洋上風力発電開発への対応も求められています。このような状況を踏まえて、以下の諸対策を推進します。

制の構築に向けた取組

- ② 海岸漂着物処理推進法等の災害復旧に活用可能な各種支援事業の拡充強化

(6) 水産物貿易自由化に対する対応

- ① 貿易自由化交渉の進展に対する本道漁業への影響回避に向けた取組



岸田首相に要請書を手渡す
ぎょれん阿部会長

2. 指導・教育事業

漁協システムを取り巻く環境が劇的に変化する中、健全な組合経営体制を構築するにあたりコンプライアンス、ガバナンスといった管理体制強化への取組が強く求められています。これらに対応するため漁協役職員の人材育成、職員の人材確保活動を支援するとともに、関連法や諸規程類の改正等に関する情報提供を継続します。

(1) 河川・海洋環境保全対策

- ① 大規模河川改修（国による治水対策）に対する漁場環境保全を強化
- ② ラピダス半導体工場の取排水・有機フッ素化合物（PFAS）への対応
- ③ 洋上風力発電開発や海底送電線網整備に係る対応強化

(2) 大規模インフラ工事対策

- ① 新幹線トンネル工事に係る対策土への対応継続
- ② 橋梁の架替え、大規模修繕、高規格道路建設等のインフラ対策の強化

(3) 農業関連対策

- ① 家畜排せつ物流出問題、河川敷地での液肥散布対策の取組強化
- ② 農地崩落、草地造成工事対策、農薬対策

(4) 油流出事故対策

- ① 油濁対策機構と連携した油防除指導者養成講習会の開催
- ② 油濁事故発生時の専門家派遣など現地対応支援の強化

(5) 有害生物対策

- ① トド・ザラボヤ・クラゲ類による漁業被害軽減対策の推進
- ② ザラボヤなど処理対策費の増額や柔軟的運用の要請

また、個人優先への社会的風潮が強まる社会にあつて、相互扶助の精神に基づく協同組合組織の重要性を広める取組を継続します。

(1) 漁協の経営適正化に向けた取組の強化

- ① 経営安定化を進めるため、水協法等関連法規や税制等に関する研修会及び情報提供を継続します。
- ② 全国監査機構による新一般監査を通じ、漁協に対する経営実務指導を継続します。
- ③ 北海道漁協経営強化推進本部の運営を通じ、関係機関との連携を強め経営不振漁協への指導・支援を継続します。

(2) 漁協役職員の人材育成、確保に向けた支援

- ① 組合実務に直結する研修を実施するとともに、動画やWebを活用した研修ツールの作成を進めます。
- ② 新規人材確保に向け全国漁協組合学校に対する業務支援と、本会奨学金制度の円滑な運用、新採用に関する情報提供を継続して行います。

(3) 協同組合意識醸成に向けた側面支援

- ① 組合員が集まる場で活用できる研修ツールの作成、整備を進めます。
- ② 青年部、女性部等の全道会議の場を活用し組合員組織での研修会開催を要望する

(6) 流木対策

- ① 流木捕捉工の設置個所拡大に向けた取組推進
- ② 国や道による流木撤去事業の実施と予算拡充要請

(7) 海洋プラスチックごみ対策

- ① 「全道なみまるクリーンアップ作戦」の継続実施
- ② マイクロプラスチックの魚体への影響等知見の集積

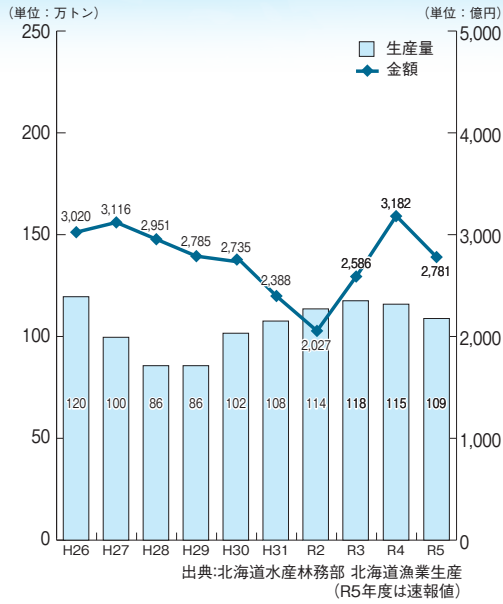
(8) 森林環境保全対策

- ① 森林の機能と、育樹を意識した「お魚殖やす植樹運動」の展開
- ② 河畔林・溪畔林の保全に向けた行政機関との協議



「お魚殖やす植樹運動」の様子

本道漁業生産量・金額の推移



① 旬期消費拡大に向けた生フィレ・生筋子の販売強化

② 原魚荷捌きにおける加工業者との取組強化並びに物流機能維持に向けた、配送業者との取組強化

このことから、秋鮭流通対策協議会と連携した国内外における各種対策を計画的に実施し、秋鮭の安定的な消流に向けた取組を推進していきます。

販売事業について

昨年の全道水揚げは、昆布やさんま、いかといった基幹魚種の水揚げについては依然として低水準が続いているものの、ほたてやいわしが安定した生産量を維持したことにより、6年連続で100万トンを超える結果となりました。一方、金額については中国による禁輸措置や秋鮭の不漁の影響により前年を下回る結果となりました。

水産物の流通は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う各種イベントの再開や国内外の人の往来が活発となり、外食需要を中



「全道なみまるクリーンアップ作戦」
令和5年度は胆振地区、北見地区、留萌地区、釧路地区、小樽地区で実施しました

心に堅調に推移しています。

また、輸出动向は依然として不透明であることから、国内販路の拡充及び輸出版路の再構築が必要となっています。

このような環境変化に対応した各種流通・宣伝・販促事業を展開していくとともに高品質・安全安心を訴求し、北海道水産品のさらなる販路拡大に繋がります。

① 市場

安定流通・魚価維持のための産地市場対策の拡充

① 突発的かつ集中水揚げ時に対応しうる広域的な凍結・加工・流通体制の拡充

② 水揚げ増加傾向魚種の販売強化

② 加工

漁協・協力会社・関連会社との組織的連携による加工機能強化

① 製造環境、消費環境及び水揚げ環境の変化へ対応した付加価値商品の開発強化

② 安全・安心対策強化に向けた品質・衛生管理スキルのさらなる向上

③ 変化する消費者ニーズに対応した加工体制の拡充

③ 流通

① 国内販売対策

ア、各販売業態に対応した販売戦略及び

② 国内対策

＜親製品＞

① 秋鮭対策の柱となる冷凍ドレスの安定流通に向けた販売強化

② 販路拡大に向けた生協、給食など主要業態へのアプローチ強化

③ 変化する需要環境に対応した製品の生産強化に加え、エコラベルの有効活用と販路拡充

＜魚卵製品＞

① 適正在庫に向けた重要販売先との取組強化

② 需要の伸長が見込まれる外食、インバウンドなどをターゲットとした販路拡充

③ 輸出対策

① 水揚げの回復を見据えた原料輸出先の構築（タイ、台湾、東南アジア他）

② 海外内需をターゲットとした製品の販売強化（台湾、東南アジア、香港、カナダ他）

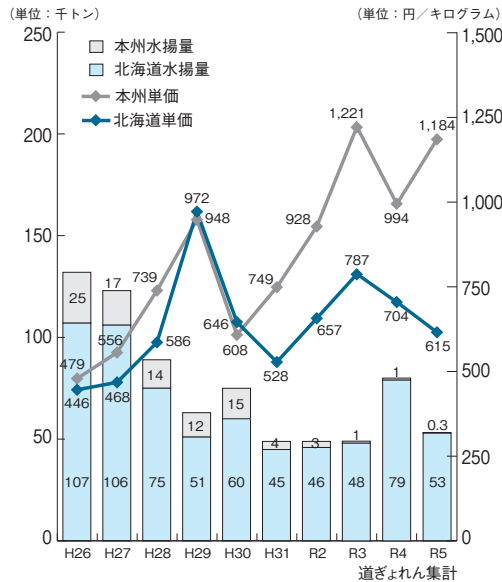
④ その他

① 水産エコラベル（MEL）認証の国内外の普及促進と認知向上

② 海外でのMEL流通加工認証（COC認証）の取組推進並びに現地審査実施の要請



秋鮭水揚量・単価推移



1. 秋鮭

道内の水揚げは、昨年を大きく下回る約5万3千トンとなり、地域間格差をさらに広める結果となりました。流通においては、親製品については、ALPS処理水放出の影響による中国への禁輸から、中国以外への輸出ルート構築や国内販売の強化等、安定的な消流に向けた対策が必要な状況となっており、魚卵製品についても、昨年産の在庫の滞留により、新物の販売が遅れたことに加え、競合する安値の輸入いくらに回転寿司を主体とする大口消化先を侵食され、予断を許さない状況となっています。また、近年課題となっている秋鮭の背面処理（加工能力等）は依然と

商品開発の推進

イ、重要取引先との取組強化による安定流通及び新規販路の拡充

ウ、消費動向・社会情勢に対応した柔軟な宣伝・販促活動の強化

エ、MSC、MEL等を活用したブランド力強化

② 輸出対策

ア、中国禁輸に伴う輸出版路の再構築

イ、原料輸出による市場確保の取組継続

ウ、海外ニーズに対応した製品輸出の販路確立

令和5年度 全道漁協トップセミナーが開催 元麒麟ビール副社長・田村氏が 「勝てる組織の創り方」について講演

3月8日(金)、ぎょれんと信漁連が共催する令和5年度 全道漁協トップセミナーが札幌市の第二水産ビルで開催され、全道各地の漁協や系統団体、道水産林務部、農林中央金庫の役職員ら約120名が参加しました。

今年は元麒麟ビール(株)・代表取締役副社長の田村氏を講師に迎え、『「理念」と「現場力」による勝てる組織の創り方』と題し講演が行われました。田村氏は企業理念の浸透や、それに基づいた行動改革を行うことで業績をV字回復させ、同社の全国でのビールシェア首位奪還の立役者となった方です。現在は独立し、100年プランニング代表として、自身の経験を基にした講演活動を積極的に行っています。

この度も各漁協トップの経営陣へ向け、自らが行動することの大切さ、確固たる理念やビジョンで生産性を向上させる方法、リーダーのあるべき姿などを分かりやすく説明。不安定な漁業経営が続く今だからこそ、組織が一枚岩となって逆境に立ち向かう必要性を伝えました。



全道各地区から約120名が集まり、講演を通じて経営陣が果たす役割を再認識しました

漁業経営の安定や漁場環境保全に向けた対策の実現へ 日本海沿岸漁業の振興対策に関する要請を 実施しました

日本海沿岸19漁協で構成する北海道日本海沿岸漁業振興会議(事務局：ぎょれん漁政部)とぎょれんは、3月4日(月)～5日(火)にかけて、道や国へ対し、本道日本海沿岸漁業の振興対策に関する要請を実施しました。

要請では漁業実態に即した資源管理の実施、漁業有害生物による被害対策、本道日本海沿岸地域の漁場環境保全を通じた持続的漁業の実現といった水産資源の回復・増大並びに漁業経営の安定や漁場環境の保全に向けた対策の実現へ支援を求めました。



3月4日に実施した道要請では、道議会の富原議長・桐木水産林務委員長へ要請書を手渡しました

漁師さんの魅力、北海道の漁業をしっかり勉強 第33回 漁師さんの出前授業が開催されました

2月20日(火)、札幌市立美香保小学校で「漁師さんの出前授業」が行われました。33回目となるこの授業は道漁青連とぎょれんの共催で4年生の児童65名が参加しました。

当日、先生を務めた山崎理事(釧勝)は昆布漁の動画について説明した後、実際に道具を使ってどのように昆布をとるか身振り手振りで実演しました。生徒ははじめて見る製品化された立派な昆布に驚きの声を上げていました。

また、質問タイムでは児童から様々な疑問が投げかけられ、それにひとつひとつ丁寧に海への愛情を感じさせる回答をされました。先生や児童の皆さんも有意義で楽しい時間を過ごしました。



山崎理事のロープワークに児童は興味津々です

関連水産団体が合同で道へ要請を実施 ラピダス社工場の工場用水の取排水に係り 要請書を手交しました

2月27日(火)、北海道環境保全対策本部(事務局：ぎょれん環境部)、北海道さけ・ます増殖事業協会、ぎょれんは、建設中のラピダス社の半導体工場(千歳市)に関して、工場誘致と多大な支援を行っている道へ対し、合同で要請を行いました。

3年後に量産ラインの稼働を予定している同工場は、安平川から取水し、千歳川に排水することとしており、さけ・ます類をはじめとする魚類やその餌となる生物への生息環境や水質などへ影響を与える可能性があることから、①排水方法・排水先は、事前の速やかな情報開示と漁業関係者に対し十分な協議を行うこと。また、関連して環境や漁獲物へ悪影響が無いようラピダス社に指導すること、②排水がサケ科魚類の回帰へ影響を及ぼす可能性があるため、十分な事前調査と評価を実施し、工場稼働後はモニタリングを実施して、結果を公表すること、③排水中の有機フッ素化合物類を可能な限り低減するよう対応すること、④放流事業やそのた漁業生産活動に被害が発生した場合、関係する漁業者や漁業関係団体に対する被害の救済策を速やかに講じることなどを求めました。



3団体合同の要請団から土屋副知事へ要請書を手交しました

令和5年度 全道漁協ブロック別役員研修会(道央・道北ブロック) 漁協のコンプライアンス等、現代の漁協経営に係る 諸課題について研さんを積みました

3月7日(木)、札幌の水産ビルにて令和5年度 全道漁協ブロック別役員研修会(道央・道北ブロック)が開催され、対象ブロックの11漁協から理事・監事など漁協経営に携わる役職員、行政、系統団体から合わせて約50名が参加しました。

研修会では、ぎょれんの顧問弁護士も務めている多田弁護士(ユナイテッド・コモンズ法律事務所)より「漁協のコンプライアンス」と題して、パワハラを中心としたハラスメント対策の必要性や万が一発生した場合の対処法などの講演が行われたほか、ぎょれんの瀧波常務より「コロナで何が変わった!? これからの北海道漁業」、信漁連の小林常務からは「とても重要なマネロン対策」が講義され、昨今の時世に合わせた諸課題と対策について、知識を深めました。



講
コンプライアンスについて講師を務めた多田弁護士

東京・代々木公園で道産はたてのPRと食育活動 ファーマーズ&キッズフェスタ2024で「販売」と 「食育」ブースを出展しました

北海道はたて漁業振興協会(事務局：ぎょれん販売企画部)は、3月2日(土)・3日(日)の2日間、東京の代々木公園で開催された「ファーマーズ&キッズフェスタ2024(主催：日本農業法人協会)」へ北海道産はたてのブースを出展し、訪れた多くの来場者へPRと食育活動を実施しました。

この度のイベントでは、「販売ブース」での焼きはたての販売や、「食育ブース」でのはたてのタッチプール体験やはたてクイズに挑戦などの各種アトラクションを通じて、大人から子どもまで幅広く道産はたての認知度向上を図ることができました。また、ステージイベントでははたての王子様「ホタテリオ」の着ぐるみが初登場し、じゃんけん大会を大いに盛り上げました。



はたてのタッチプールは子どもたちに大人気でした

ホタテリオの着ぐるみが初披露されました

シークワードクイズ

4月のテーマ 「春から初夏の花」

ク	レ	ン	ギ	ヨ	ウ	キ
サ	ミ	ス	ア	ツ	ズ	ン
グ	ス	ン	ワ	ミ	ウ	ヤ
ナ	ズ	シ	ナ	コ	エ	ラ
レ	ラ	ハ	デ	ザ	ヤ	ト
ス	ン	マ	ク	ン	ベ	ミ
ワ	リ	ラ	イ	ラ	ツ	ク

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

マ	ジ	ウ	ヨ	ジ	チ	ハ
キ	ザ	ヤ	ミ	タ	セ	ア
ア	オ	モ	リ	ト	ツ	ト
サ	セ	ナ	チ	シ	ノ	ヒ
ツ	ベ	ン	マ	メ	ク	ミ
リ	シ	リ	ダ	カ	タ	オ
ウ	マ	ジ	タイ	オ	オ	

3月号の解答と当選者 アサヒカワ

(八雲町) 母。 さん
(白糠町) 雲 津 菜美子さん
(標津町) 渡 部 裕一さん
(礼文町) 三 上 咲 空さん
(札幌市) 二 木 風 紗さん

4月は「春から初夏の花」がテーマです。雪も溶け、春を感じる季節になりました。春と言えば思い浮かぶ花は何ですか？

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- ☐ アンズ(杏)
- ☐ ウツギ(空木)
- ☐ コデマリ(小手毬)
- ☐ スズラン(鈴蘭)
- ☐ スミレ(堇)
- ☐ トベラ(海桐花)
- ☐ ハナミズキ(花水木)
- ☐ ミヤコワスレ(都忘れ)
- ☐ ヤエザクラ(八重桜)
- ☐ ライラック(ライラック)
- ☐ レンギョウ(連翹)
- ☐ ワスレナグサ(勿忘草)

〈ヒント〉春に咲く豪華な花のひとつでつややかな葉を一年中楽しめる多年草です。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえると答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

- リスト
- ☐ アキアジ
 - ☐ コマイ
 - ☐ プリ
 - ☐ サンマ
 - ☐ コンプ
 - ☐ アサリ

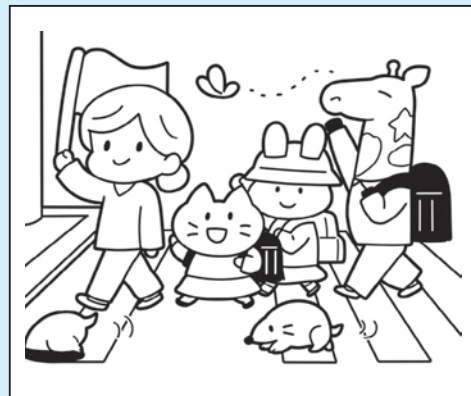
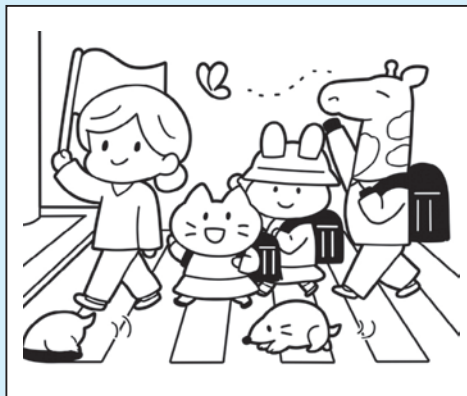
ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語

はかま だ
宗谷漁協 袴田さんご家族



【袴田さんご一家】 袴田 祐也さん(42歳)、恵さん(50歳)、惺那くん(14歳)、大翔くん(10歳)

※写真は祐也さんの父 勝明さん、母 淳子さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、宗谷漁協の袴田さんご一家です。

いつも助けてくれる漁師仲間と 育んでくれる環境にも感謝

祖父の代からの漁師家系という祐也さん。現在、ほぼ年間を通してほたてをメインに漁業へ従事していますが、元々お爺様は、青森のお米農家からの移住だったそう。お父様がその仕事を継ぎましたが、祐也さんの3歳年上のお兄さんは、高校卒業後すぐに就職で本州へ行かれたこと、そして何より、中学生の頃から手伝っていたお父様の仕事へ尊敬と憧れがあり、祐也さんは地元高校を卒業すると、その年の春からは鹿部の漁業研修所へ通い、そのまま漁師になりました。当初は、自宅が漁港から離れていることもあり、早起きや慣れない作業に戸惑うこともありましたが、同じ管内の同級生をはじめ、歳の近い漁師仲間たちと互いに支え合いながら、一歩ずつ成長することができ、「仲間達への感謝はもちろん、若い頃から多くの仲間を育ててくれた、宗谷の環境にも本当に感謝している」と話します。

現状に満足せずに新たな挑戦も

そんな祐也さんを「周囲から頼られることも多い」と話す妻の恵さん。恵さんとは共通の知人を通じて出会ったのがきっかけで付き合い始めると、その翌年に結婚しました。その後、二人のお子さんが誕生し、仕事に出ていく祐也さんへ毎回おにぎりを作ったり、子育て等で家庭をサポートしています。そうして育った長男の惺那くんは、4月からは中学3年生。入学と同時に野球部に入部していますが、それ以上に釣りが大好きで、朝から一人で行っては、親がびっくりするほどの釣果を上げてくることもあるそう。一方でインドア派という次男の大翔くんは、自分から通わせて欲しいと、今は塾に通い英語の勉強をしています。息子たちにお二人は「このまま素直に育ててくれれば、それだけで十分」と温かい目で見守っているのが印象的でした。

最後に指導漁業士でもある祐也さんへ今後の目標を何うと「今の漁業に満足せず、若い人たちには色々なことに挑戦してもらいたいし、挑戦できるような環境を作ってあげたい。今ある資源を守りながら、次の代に繋がるような漁業をしていきたい」と話してくれました。



編集部からのお知らせ

皆様からのお便り、写真、イラストをお待ちしています！

次の①～③を明記の上、ご応募ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

- ①なみまるおたより箱への投稿（お便り、写真、イラスト等）や、広報なみまるくん4月号への感想・ご意見など（※150字程度まで）
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所・氏名・年齢・電話番号

〈宛先〉4月19日までにお送りください。

（郵便）〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん 総務企画部 広報担当

（FAX）011-242-3543

（電子メール）info@gyoren.or.jp

※「なみまるおたより箱」には①からご紹介します。ご応募いただいた方の個人情報は、図書カード進呈や、お便り、写真、イラスト等の掲載（氏名、年齢、市町村名）にのみ使用いたします。写真やイラストは、返却できませんのでご了承ください。

11ページの間違いさがしの答え



小樽のにしんおいしかったです。おさしみ、塩焼き、酢づけ、煮つけ、にしんのいずしなどたくさん食べました。来年もたくさん食べられるといいね！今年はホタテどうでしょうね。海の水は大丈夫でしょうか？小樽の小学校でも食育授業あるといいですね。浜のホットニュースいろんな所にいるんな魚が取れますね。
（小樽市 小樽SSさん）

みなさんのお便りでつくるページです。

なみまるおたより箱



ガス（濃霧）がかかり春を感じるこの頃です。
（根室市 すーさん）
流水でスケソ刺網が、切上になりました。2月初めに見えだしました。風が西系になれば岸より離れ、東系になれば近づく氷。いつの間にか、3月中旬。
（標津町 渡部裕一さん 69歳）
地元の大分に来て頂きありがたございました。大分はとり天も有名ですが、唐揚げが最高なんですよ。国東から60キロ西に行けば、唐揚げの聖地、中津、宇佐の唐揚げがたくさん食べることが出来ます！ザンギとは違った味がして飽きないと思います！
（北見市 試された九州人さん 23歳）

ようやく暖かくなってきました。早く雪がとけて花々が咲くのが見たいです！
（小樽市 宮古登美子さん）
耳吊りはじまりました…今年は、例年より小振りな気がする…でもこれからまだまだ成長するはず!!天気も急に寒くなったりして。ホタテの成長も景気もよくなるといいな…来年の出荷のために頑張りますか!!
（八雲町 母さん）
只今、実家に帰省中。久しぶりに、実家でとれた美味しい魚や、根室のグルメをたくさん食べられて、大満足です。4月に2人目が生まれる予定なので、孫の顔を見せに、また帰ってきたいと思います！
（札幌市 二木亜紗さん）

編集後記

例年に比べて札幌市内は雪が残っていますが、日中の気温が徐々に上昇しています。また、3月末から研修で来ている新入職員を水産ビル内で見かけるようになりました。彼、彼女らのほつととした姿にも春を感じます。（藤江）



新入りの熱帯魚ベタちゃんを本日も監視中のぎんじ3歳。
（白糠町 雲津菜美子さん 40歳）

揉んで揉まれて一皮剥けた 今日から息子が独り立ち

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター

news 浜のほつとニュース

大漁祈願！

小樽

1月から解禁となったにしん漁については、4月上旬までが漁期となっています。昨年度に比べ順調な水揚げであり、また価格も堅調に推移しています。3月中旬からはえび籠漁、4月からはほたて稚貝の出荷が始まり、春漁が本格化します。安全操業で順調な水揚げができることを祈念しています。

室蘭

雪解けも進み、春の暖かな日差しが心地よく感じられ、3月からえび籠・たこ箱漁が解禁されました。昨年に比べてえびの水揚げ量は、順調に推移しています。たこは数量が少ないながらも浜値はk@800台の滑り出しとなっています。4月上旬からは春定置網漁の操業も始まり、本ますや時鮭などの大漁に期待がかかります。新年度も生産者の皆様の安全操業と豊漁を心より祈念しています。

根室

3月中旬頃から例年より早くにしんの水揚げが増えはじめ、また、黒がれのい水揚げも、昨年同時期3倍程度の好調な水揚げとなっており、生産者は盛漁期に向けて期待を高めています。また、心配されていた日口さけ・ます漁業交渉が無事妥結し、関係者一同、安堵しています。引き続き、春漁が好天と大漁に恵まれることを祈願しています。

留萌

えび籠漁の解禁に続き、かれいやにしん刺網の水揚げが本格的に開始し、浜は活気づいています。一方、各地区でほたて稚貝出荷も始まり、浜は大きく賑わいます。3月に入ってから天候は不安定なものの、暖かな日が多くなったことで雪解けが一気に進み、春の訪れを感じています。盛漁期に向けて皆様が安全操業で大漁となることを心より祈念しています。

函館

春らしい暖かな日が増え、ほたての水揚げが最盛期を迎え、ボイルほたての製造が盛んに行われています。ボイルほたては様々な料理に重宝されますので、沢山の方々の食卓の彩りとなるよう願っています。一方、函館市場にはわかめやふのりが上場され、4月から乾海藻の入札会を控え、海藻類の旬の時期を迎えています。大変忙しい時期ですが体調にはご留意いただき、安全操業を切に願っています。

釧路

冬の寒さが落ち着き始め、春の日差しが感じられるようになってきました。たこや毛がにといった冬の主役たちの水揚げは終盤に近づいていますが好漁で終漁となることを期待しています。一方、新年度の4月になると鮭鱒流し網漁、月末ごろからは春定置網漁が始まります。新年度の生産者皆様の豊漁と安全操業を祈念しています。

稚内

厳しい寒さがやわらぎ始め、春の訪れを感じる季節となりました。3月からほたて、毛がに漁が始まり、4月からはたこ、むらさきうになど各種漁が始まります。新漁の開始と共に浜は活気づいています。繁忙期になりますが、今後も安全操業で豊漁となることを心より祈願しています。

桧山

春を間近に控え、やりいかの豊漁が続いています。今年は生育に適した海水温で、餌が豊富にあったことが資源増加の要因と言われており、約10年ぶりの豊漁に浜は賑わいをみせています。漁は5月まで続きますが、今後も安全操業で豊漁が続くことを切に願っています。

日高

3月から、おおすわいがにの特採が始まり、日産約10トンの水揚げがあります。えりも町では、3月23日（土）に全町民を対象におおすわいがにの無料配布が行われ盛況でした。一方、4月になると春定置網漁や刺網漁等が始まります。浜では春定置網漁に向けて土のうを準備している光景も見られます。皆様が安全に操業され、豊漁となることを祈願しています。

北見

オホーツク地区も徐々に春めいて雪解けが進み、本格的な海明けを迎えようとするなか、底曳網漁、ほたての漁場造成、毛がに漁がスタートして浜は賑わっています。今後は刺網漁でにしん、かれい類等の水揚げが本格化し、浜は益々賑わうことでしょう。忙しくなりますが、これからも安全操業と大漁を心より祈願します。



北るもい漁協
細野 京子さん

ほたてのチリソース

今回は「ほたてのチリソース」をご紹介します。
プリプリしたほたてとチリソースは相性抜群！
ほたてで中華を楽しみましょう。



材料 4人分

ほたて(玉冷) …… 16個	塩…………… 適量
長ねぎ…………… 10cm	こしょう …… 適量
にんにく…………… 1片	片栗粉…………… 50g
しょうが…………… 1片	サラダ油…………… 大さじ2
パプリカ(赤) …… 1/2個	水…………… 100cc
ピーマン(大) …… 1個	チリソース …… 大さじ2
	ケチャップ …… 大さじ2

作り方

- ① 沸騰した湯に塩をひとつまみ入れ、ほたてをさっとボイルしてザルにあげキッチンペーパーで水分をとる。
- ② ①のほたてに塩、こしょうをして片栗粉をつける。
- ③ 長ねぎ、にんにく、しょうがをみじん切りにする。
- ④ パプリカ、ピーマンを2cm角に切る。
- ⑤ フライパンにサラダ油を入れ、②のほたてを焼き、別皿に移す。
- ⑥ 同様にサラダ油で長ねぎ、にんにく、しょうがを炒め、ついでパプリカ、ピーマンも炒める。
- ⑦ ⑥に水、チリソース、ケチャップを入れ、⑤のほたてを入れ、とろみがつくまでからめたら出来上がり。